

速度取締指針

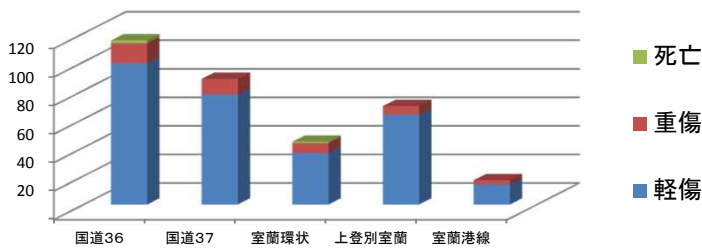
室蘭警察署の速度取締りの重点

路線	時間帯	地域	規制速度
国道36号	8時～12時	郊外・市街地	法定速度(60km/h)
	16時～20時		法定速度(60km/h)
国道37号	10時～14時	郊外・市街地	指定速度(50km/h)
	18時～20時		法定速度(60km/h)

重点以外の路線や時間帯であっても、必要に応じて取締りを実施します。

室蘭警察署管内の交通事故実態等

路線別・傷害別の人身交通事故発生状況(過去5か年1～6月)



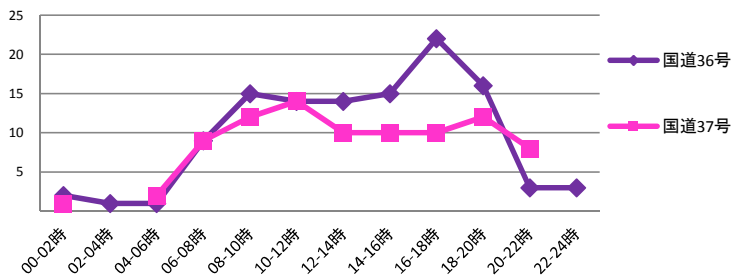
●路線別

人身交通事故発生状況を路線別に比較すると国道36号115件と最も多く、国道37号88件、道道上登別室蘭線69件、道道室蘭環状線44件と次いで多い。

●傷害別

傷害別では死亡事故が全体では5件7名で、国道36号3件4名、道道室蘭環状線1件1名と発生している。重傷事故は国道36号24件、道道室蘭環状線24件、国道37号17件道道上登別室蘭線16件と多い。

国道の時間帯別人身事故発生状況(過去5年1～6月)



過去5年(1～6月)の国道36号・37号における時間帯別人身交通事故発生状況

●国道36号は朝、夕時間帯に多発するが16時から18時の夕方時間帯に46件56人と突出して発生している。

●国道37号は12時の昼間は減少するものの、8時から10時26件32人、18時から20時26件31名と多く発生している。

○道路交通環境

- ◆国道36号は、室蘭市と苫小牧市を結ぶ主要国道であり、片側2車線の直線路部の距離が長いことから実勢速度が速く、大型車両を含めた交通量が多い。
- ◆国道37号は、室蘭市と道南を結ぶ主要国道であり、長距離の大型貨物車の交通量も多く、単線路でカーブや高低差があることから事故の危険性が高い。

○取締り要望

- ◆住宅街における駐車違反の取締り要望。
- ◆室蘭新道における速度違反運転の取締り要望。

～平成29年7月から12月末までの事故発生状況～

- 下半期の人身事故は発生94件(前年比-16件)と減少したものの減少幅は鈍化している。
- 死者は2人(前年比+1人)で飲酒・高速運転による歩行者死亡事故、及び高齢運転者単独死亡事故が発生した。
- 第1当事者の年齢別は高齢者が25件(27%、前年比+2件)と最も多い。
- 車両相互61件(65%)、市街地交差点58件(61%)、前方不注意26件(28%)とそれぞれ最も多い。

その他の交通指導取締りの要点

速度取締りのほか、市街地における交差点違反、シートベルト違反の取締りを強化